



～つめ草の歌～

林光 作詞 作曲



わたしたちは つめ草 野原の あかり
 千年 生きてる 楽しいなかま
 地中の食べ物 空から 飲み水
 美味しく もらって 元気に 育つ
 わたしたちは つめ草 ひとりで みんな
 一本の根っこで 結ばれた 家族

わたしたちは 一つのめ わたしたちは 千のめ
 ひとりみたもの みんなに見える
 わたしたちは つめ草 野原の 見張り
 異変起れば 知らせに走る
 怪我した子馬 溺れるひばり
 助け求めて つめ草 揺れる

わたしたちは つめ草 野原の守り
 千年生きても 命は不滅
 南のはしで 私が死ぬ日
 東の方で生まれる私
 野原のあかり 尽きることない
 いのちの いずみ



若葉の季節も終わりを告げ、山々の緑は勢いを増し、もうじき6月…入園進級式からもう1か月半も過ぎているんですね。慣らし保育が始まって、ようやく保育所が楽しい所って笑顔で遊び始めたあの子、進級して「〇〇したい！」とはりきっていたあの子。お休みの間どんな風に過ごしていたのかな？一人ひとりの顔が浮かんでくるばかりです。

5月と言えば、「ふれあい会」！皆で集って、いっぱい遊んで笑って、楽しみたかったなあ…。出来なくなってしまったたくさんの事やこれからの事を思うと心がぐらぐらと揺らぐ毎日。とは言え、目の前にいる子どもたちを前に俯いてばかりはいられない！！目には見えない小さなウイルスがこんなにも私たちの命と生活を脅かし、日常が閉ざされてしまうんだ…という現実を受け止めつつ、出来ることを探る！こんな時だからこそ、“見つけ・創り出す” ←後藤保育所の伝統、今こそいざ発揮！と顔を上げたいと思います。

今回のことがあって、しみじみと、そして改めて思ったことの一つは手洗いの習慣が体を守る基本になるっていう事。習慣って大事ですね。そしてもう一つは、『人とのつながり』は生きる力に欠かせない事だということです。(直接会えなくても心でつながってる人の存在も含め)そこで…お願いします。

今回6月の行事は慎重に考え、保育サロン、保育参加とも中止としました。子どもたちの姿や保育を理解していただく機会として、また保護者の方々と語り合う大事な交流の場にもなっている意味ある行事なのですが…そこで今回、苦肉の策…直接皆でつながる事が出来ない中、皆さんの率直な声を集め、つなげていくことは出来ないか？と考えました。もちろん子どもたちの様子もお伝えしながら…

どうやって？まずは下のアンケートにご協力いただき、集まった声やお返事をクラス便り等で織り込んでお返します。きっと「一緒」って共感できることや新しい視点に出会う場にもなるのでは？と思います。アナログな方法ですが、言葉を紡ぐことで心や考えを整理できる事があるから、こっちも大事にしていきたいなと思います。お忙しい中、大変恐縮ですが、どうぞご協力よろしくをお願いします。

★4月～これまでの事、緊急事態宣言が出されてからの事、自粛協力期間中の事等、何でもご自由にご記入ください。

〆切：6月5日

問：お家でどんなことをして過ごされましたか？

問：嬉しかったことや発見したことはありますか？

問：今、困っている事、気になることはありますか？

問：保育所に聞きたいことはありますか？

